

# ～はなのえん～

# 花園

筆（ふじ入居者：大島 英津子様）

利用者様・家族様が  
笑顔になれる支援を



特別養護老人ホーム山科積慶園  
生活相談員 荒木 真吾

令和2年2月より生活相談員として勤務させて頂いております。入職して間もなく「コロナ」という単語が聞かれるようになり、時間の経過と共に身近なところまで近づき近隣の病院や介護施設においても感染がみられるようになりました。

新型コロナウィルスは未知のウィルスで、当初より「高齢の方の重症になるリスクが高い」と言われていたことから、当園では入所者様の安全・安心を考慮し、慎重な対応をさせて頂くことになりました。その対応の一つとして、家族様との面会に関しても緊急事態宣言の折には原則禁止となり、一時再開後も感染者が増加し制限をせざるを得ない状態になっています。

入所者様においては家族の方と会えないことから、混乱や認知症の進行が心配されるところですが、現在のできる限りの対応としてビデオ電話やガラス越しの面会をご提案させて頂いています。面会のお手伝いをさせて頂く際には、久しぶりに家族様と会われた時の笑顔やお話の中での良い表情などをみていると私自身もうれしくなります。コロナ禍の中で今までの生活様式がかわるなか、新しい仲間と相談をしながら、利用者様や家族様が笑顔になれる支援の形を考えていけたらと思っております。

発行責任者

社会福祉法人積慶園  
特別養護老人ホーム山科積慶園  
施設長 石黒 善治  
京都市山科区北花山大林町34番地  
電話(075)583-6277 FAX(075)594-2101

第34号 発行日：令和2年12月1日

仕事もプライベート  
も充実させる



特別養護老人ホーム山科積慶園  
事務主任 林 和也

少し前まで、夏の猛暑でバテていたのに、最近急に涼しくなり、今年も残すところあとわずか・・・。本当に毎日が早く過ぎていくのを感じます。私がこの山科積慶園に入職してもうすぐ4年になります。自宅がある大津市内から電車2本とバスを乗り継いで約1時間。最後職場までの上り坂に息を切らしていた当時に比べれば、今はそんな通勤も慣れたのかなと思っています。これまで業界は違いますが事務（総務）の仕事がほとんどでした。仕事の内容は大まかには同じですが、まだまだ新しく覚えることが多く、毎日がとても新鮮で、日々勉強とあらためて感じさせられます。

最近の休日の過ごし方は様々ですが、趣味で始めたゴルフはもう10年以上になり、休日には友人とコースを回ったり、練習場に行ったり、プロの試合を見に行ったりと、体を動かし、リフレッシュをしています。人混みから離れ、自然の中で体を動かす事がどうやら自分の中でも合っているようで、心が洗われるというカリセツトされる感じがすごく好きです。

仕事もプライベートも充実させ、山科積慶園がもっともっと良い施設になる様、取り組んでいきますので、これからも宜しくお願ひします。

## 《夏まつり》

今年の夏まつりは、新型コロナウィルスの影響で感染対策を実施し、各ユニットでbingo大会をしました。館内放送で読み上げる数字毎に「あつたわ、ないなあ、違うなあ」等、入居者様からは大きな歓声が起り、盛り上りました。bingoの賞品が施設長から渡されると入居者様も嬉しそうなご様子で、目が輝き、笑顔があふれています。景品はマッサージ器や加湿器、電動爪切り器や喜劇のDVD等バラエティ豊かなものを用意しました。また、ヨーヨー釣りをしたユニットもあり、釣り上げた時の入居者様の嬉しそうな、楽しそうな表情がたくさんありました。中止も考えられる中で開催出来たのは全職員の思いが通じ協力体制が組めた賜物だと思いま

ます。来年は、コロナウィルスが落ち着いて、  
もっと盛り上がる夏まつりができるよう、祈るばかりです。

(阪井)



## 《敬老会》

毎年のように集まって催しが出来ませんでしたが、施設長よりお祝いの言葉と色紙を渡して頂き、皆様素敵な笑顔で「こんなええもんもらえて良かった。」「大切に飾る」などと喜んで頂けました。普段は笑顔の少ない方もこの時はすてきな笑顔をされ、見ている職員も嬉しい気持ちで一杯でした。おやつもお祝い用の物を用意し、見た目にきれいで豪華なおやつに



入居者様も「食べるのがもったいない」と喜んでおられました。まだまだコロナが落ち着かない中で日々を送ることになりますが、ウイルスに負けず、元気に楽しく過ごしていただきたいと思います。(武田)



## 《習字》

例年は年始に書き初めをやっていますが、今回は各ユニットでお習字の日を企画

しました。お手本を何枚か用意して、それを見ながら書いていただきましたが、皆様墨の香りで精神統一され、昔を思い出され、一生懸命書いてくださいました。普段、昼食後、すぐ部屋へ帰ってお昼寝をされる入居者様も、寝るのを忘れて何枚も書いてくださいました。



できあがった作品はご覧の通り、どれも上手に書けていました。(大屋)



## 《お茶会》

毎年、春と秋に外部の先生を招いてお茶会を開催していましたが、コロナの影響で春は開催が出来ず、秋は何とか開催したいと各部署にかけあい、ユニットごとにお茶会を開催しました。普段生活をする場所ですが、琴の音の



CDをかけ、ゆったりとした雰囲気作りをしました。職員がお茶を点てる姿を見て「私も昔はお茶を習っていたよ」と思い出を話してくださる方や「美味しかったです、ご馳走様でした」とお辞儀されている方もおられました。こんな時期だからこそ、ほんのひととき普段と違うおやつの時間を提供できて良かったと思いました。(野崎)

## 《避難訓練》

10月31日、昼間の火災想定で避難訓練を実施しました。



職員は非常放送をよく聞き、

落ち着いて入居者様を誘導しなければなりません。

今回の訓練でも特に問題なく入居者様と一緒に避難を完了し、人数報告することができました。

火災などの災害はいつどんな時に起こるかわかりません。いざという時に落ち着いて行動し、入居者様



を守ることが大事だと思いました。(服部)



### 福祉人材認証制度の認証を更新することができました。

平成25年に創設され、人材育成に積極的に取り組む事業所を対象に京都府が認証し、公表する制度で正式名は『きょうと福祉人材育成認証制度』といいます。山科積慶園も3年前の平成29年に初めてこの認証を受け、今回がその更新手続きとなりました。



京都府庁へ出向き、多くの書類のチェックを経て無事更新することができました。これからも人材育成に積極的に取り組んでいきます。

## 医務室だより ~~ 面会について ~~

10月中旬、厚労省では新型コロナウィルス対策として、介護施設に入所されている方が、家族と触れ合う機会が減ることにより、認知症の悪化を懸念する声が高まったとして、面会を緩和することを決められました。しかし、11月に入り、新型コロナウィルスが再燃し始めており、なかなか通常の面会を再開でいない状況となっています。

そこで、1日あたりの人数制限はありますが、TV電話や、ガラス越しでの面会を実施しています。面会されている時の入居者様・家族様の笑顔をよく見かけていますので、是非利用していただきたいと思います。京都でも感染者が増え、治療や完全な予防方法も定まっていませんが、マスクの着用や手指の手洗い、アルコール消毒の徹底をし、健康管理を続けていきたいと思います。(小島)



# デイサービスセンター ぬくもり 4ヶ月の行事

## 《夏まつり》

今年は感染の影響で色々な行事が予定通り行なえず、金魚すくい等、密になりそうな催しは避けて実施しました。昨年までの夏まつりと比べれば縮小気味の夏祭りでしたが、射的など童心に帰って楽しんで頂けました。



皆さんの届託のない笑顔が印象的でした。来年はもっとたくさんの催しをして楽しみたいです。

## 《壁面制作①》

夏の盛りはひまわりを壁いっぱいに配しました。画用紙で一枚一枚花びらを作り、種の周りに貼り付けて大輪のひまわりを咲かせました。元気そうな子供たちが虫取りをしている光景には「なつかしいな」と利用者様は目を細めて眺めておられました。廊下にはすだれに朝顔の花の折り紙を飾り、少し涼しげな雰囲気が表現できたかなと思います。



満月の中の餅つきうさぎが好評でした。



## 《お茶会》

今年は外からの先生をお招きしてのお茶会が出来ないので、デイだけで行ないましたが、お茶を立てて下さる方もいらして、美味しい和菓子でほっとする時間が持てました。嗜みの無い私達に利用者様がそっと教えて下さり、楽しくお茶をいただきました。



## 《紅葉狩り》

紅葉も見頃のある日、お天気が良かったので紅葉狩りに出かけました。大津市内の日吉大社や西教寺の紅葉は真っ赤でとても美しかったです。その近くの公園は人が少なかったので、持参したおやつとコーヒーをいただきました。その日は暖かい日で、寒さを感じず気持ちよく過ごせました。別の日には京都市内に出かけ、堀川通りの見事に金色に輝く銀杏を見る事が出来ました。道路いっぱいに銀杏が落ちているのを見て、利用者様は「拾いたい！」と、口々に言われ、職員も少し困った場面も・・・。きれいな紅葉を見ることが出来、利用者様も終始満足のご様子でした。

## 《壁面制作②》

一から絵を描いたり、作ったりは難しいのですが、インターネットからイラストを頂いて、葉っぱや動物達を切っていただきました。



大ざっぱでいいですよと言っても几帳面に線に沿って切り取って下さったので、いっぱいの落ち葉と可愛い動物達で和むすばらしい壁面製作ができました。次はクリスマスリース製作です。

## \*・\*・\*・\*・編集後記・\*・\*・\*・\*

今年はコロナ渦の中で終わろうとしています。多くの行事が中止になり楽しみの少ない一年になってしまいました。自分も感染しないだろうかと不安に感じながらの仕事でした。まだまだこれからどうなっていくのか未知数で不安な面がたくさんありますが、明けない夜はない信じて前向きに日々を過ごしましょう。  
(杉山)